

(案)

令和 2 年 1 月 23 日

伊勢市長 鈴木 健一 様

伊勢市環境審議会
会長 中松 豊

第 3 期伊勢市環境基本計画について（答申）

令和元年 7 月 19 日付け 31 環 第 853 号で諮問のありました標題の件につきまして、審議の結果、別紙計画（案）のとおり答申いたします。

なお、下記の点に留意され、本計画が総合的かつ計画的に実施されるよう要望します。

記

1. 神宮が鎮座するまちとして歴史を刻んできた伊勢の環境は、他の地域にないものであり、市民だけでなく国内外からも注目される地域であるという意識をもって計画を推進すること。
2. 他の環境分野、また、福祉や産業等の他分野との関係や影響等、事業環境を多角的に捉え、コベネフィット（相乗便益）の創出を図るとともに、利益が相反する場合は、バランス感覚をもって調整を図ること。
3. 世界や社会情勢の動向に注視し、その変化に対し柔軟に対応すること。
4. 現状における課題の要因をしっかりと把握し効果的な施策を立案するとともに、費用対効果を考慮し効率的な推進を図ること。
5. 市民や事業者、団体等が、計画に示した「市民・事業者に期待する役割」に協力いただけるよう、また、連携しながら計画の推進を図るため、様々な手段・機会を通じて計画の周知及び事業への協力の呼びかけ等を行うこと。
6. 計画の進行管理は、随時、適切な目標指標を設定したうえで、環境審議会等の市外部の意見も踏まえて着実にを行うこと。